

13 基礎から学べる政策づくり入門研修

【合同研修】

～公共課題の実践的な解決へ向けて～

目的	政策形成の基礎知識を学ぶとともに、政策形成プロセスを実践的に体験することにより、創造的な政策形成能力を習得する。		
内容	(1) 政策形成の基礎知識と概念：政策とは何か、政策のサイクルについて (2) 行政課題の現状分析について：課題とは何か、行政課題を取りまくステークホルダー、課題の広がりや分析手法など (3) 政策形成に有効な手法について：効果、時間、関係者などの広がりでの幅広手法の紹介 (4) 政策立案演習について：事例を参考にしながら演習するだけでなく、実務で使えるヒント、ポイントを例示		
実施年月日	令和7年 9月30日(火)～10月 1日(水)	定員	42名(市町村職員6名 県職員36名)
対象者	(市町村) 採用2年目～係長等未満の職員 (県) 中堅キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員		
実施場所	大分県自治人材育成センター		
推薦期限	令和7年8月13日(水)	《第9回》	経費内訳 内訳表1
指定ホテル	—	その他留意事項	—
研修講師 (プロフィール)	【一般社団法人 日本経営協会 講師・コンサルタント 細川 甚孝(ほそかわ しげのり)氏】 大学院修了後、各種シンクタンクにおいて、官公庁の施策立案に関する調査、研究を主とし活動、総合計画や行政改革、行政評価手法の策定等に尽力する。その他、官公庁を中心とした地域活性化(農業振興・地域ブランド形成・コミュニティビジネス・観光戦略)や教育、産業振興(教育計画・生涯学習推進計画)なども企画から実際の策定(工程管理含む)まで担当するなど、行政運営、地域活性化を専門としたコンサルタントとして活躍。その間、研修講師としても制度浸透等のために活躍し、現在は政策プランナーとして全国にて各種指導を行っている。 【専門】 政策形成、政策法務、地域活性化、公共マーケティング、施策立案 他 <input type="checkbox"/> 政策プランナー <input type="checkbox"/> 早稲田大学パブリックサービス研究所招聘研究員		
受講者の声	・今後、政策づくりを行う際に、観点や手法について参考になった。		
	・近年発展した統計情報や地図情報システム、生成AIを活用した現状分析方法について実演があり、課題の把握と効果的に打つべき施策を判断するための技術について知ることができた。		
	・日頃業務では関わることのない政策作りの研修だったので難しかったが、講師の先生がわかりやすく説明してくれたので理解することができた。		
	・業務に活用できるAIや統計サイト等業務に役立つことを丁寧な解説していた。そのため実践性が高いと感じられた。		
備考			

時間割										
	9:00		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1日目	8:50	20	30	オリエンテーション	1 政策形成を取りまく現状と課題 2 政策形成の基礎知識 3 政策形成の考え方・捉え方	昼食	4 ミッションビジョンの確認(STEP1) 5 問題を定義する(STEP2) 6 証拠を集める(STEP3)	15		
	受付									
2日目	8:45	15		受付	7 仮説を組み立てる(STEP4) 8 成果を予測する(STEP5) 9 政策提言のためのプレゼンテーション手法	昼食	10 政策形成実践演習 11 まとめ	15	閉講	
	9:00									
	9:00		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。